

令和2年度 事業報告

社会福祉法人 野の花学園

1. 総括

安倍首相が令和2年8月28日、持病の潰瘍性大腸炎の悪化を理由に辞任する意向を表明した。第1次内閣の2007年9月に退陣した際も同じ持病の悪化が原因であった。

在職日数は、2012年12月の第2次内閣発足から連続で7年8か月余、第1次内閣を含めた通算では3188日で、いずれも歴代1位を記録する歴史的な長期政権であった。

第2次安倍内閣は、経済政策「アベノミクス」を推進し、消費税率を8%、10%と2度にわたって引き上げた。

安倍一強体制は盤石であるように見えたが、一方で、新型コロナウイルス感染症対応のまずさが批判されたほか、森友・加計学園を巡る問題など長期政権のほころびも目立った。辞任後の11月には、首相在任中の桜を見る会の前夜祭を巡り、政治資金規正法違反の疑いが浮上している。

安倍首相の突然の辞任を受け、9月16日に第99代の首相には、安倍政権で内閣官房長官を務めた菅義偉氏で2人の候補者を破っての就任となった。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府は4月7日、緊急事態宣言を発令した。当初は東京都など7都府県が対象だったが、16日に全国に拡大した。国民に外出自粛を呼びかけ、遊興施設や商業施設など幅広い業種に休業を要請。繁華街や駅から人の姿がめっきり減った。

緊急事態宣言に先立ち、政府は2月28日、全国の小中学校や高校などを3月2日から春休みまで一斉休校とするよう要請した。その後の緊急事態宣言の発令もあって、休校は長いところで3か月に及んだ。

街ではマスクやアルコール消毒液などの品薄が続き、買い占めや高額転売が相次いだ。病院では、入院病床や医療物資の不足が問題となった。緊急事態宣言は5月下旬に全面解除されたがその後も混乱は続いた。

社会的距離の確保やマスク着用などの「新しい生活様式」が浸透し、自宅などで勤務するテレワークをはじめ、感染リスクが高まるとされる「3密」を回避する動きが広まった。

新型コロナウイルスの猛威は夏に行われるはずだった東京五輪・パラリンピックを直撃し、1年の延期が決まった。

コロナ禍の中、追い打ちをかけるように7月4日、九州を中心に記録的な豪雨が発生し、河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、九州5県で77人が死亡し、2人が行方不明となった。

新型コロナウイルスの影響は、野の花学園においても過去に経験したことがない大きな問題となり、対応を間違えば法人存亡の危機と捉え、福田量理事長を対策本部長とする対策本部を組織し、感染防止に総力を挙げて取り組んだ。

利用者の安全を最優先し、保護者の面会禁止をはじめ関係者の施設内入室禁止などを断行した。

利用者約1,200人、職員約400人近くを擁する本法人の危機管理が真に試されることとなったが、利用者、保護者、職員の皆さんへ諸々の厳しい規制をお願いするなど、足元まで忍び寄るコロナの感染から利用者及び職員を守るための水際

対策に総力を挙げて戦った。

その結果、完全ブロックとまではいかなかったが、本年度中にグループホームの利用者1名と職員1名の陽性者を出すことになった。いずれも入院することなく2週間の隔離で回復し、クラスターという最悪の事態には至らず胸をなでおろした。

しかし、今なお予断を許さない状況にあることは言うまでもなく、気を緩めるわけにはいかない。

創立60周年記念事業として施設整備、とりわけ第一野の花学園の建て替え工事を平成28年から着手したが、完成を間近にして、コロナ感染の影響を受けることとなり、人材と資材不足から建設現場は大変な混乱であった。

それでも関係者の並々ならぬ努力により約4年の歳月をかけた建て替え工事は1件の事故もなく令和2年9月には晴れて全面竣工の運びとなり、10月から新生第1野の花学園での利用者支援が開始された。

本年度から取り組むことになった次の4件の新規事業は何れも福岡市及び旧筑紫郡5市の指定管理事業であるが、コロナ感染拡大の中、休館を余儀なくされることが多く波乱の事業開始となった。

- ①障がい者スポーツセンター、 ②早良障がい者フレンドホーム
- ③西障がい者フレンドホーム、 ④筑紫地区地域活動支援センター

法人全体の経営は、コロナ禍の影響で大幅な減収も覚悟したが、在宅支援（利用者は通所せず電話等で支援を提供する体制）による代替支援が適用されることになったことから、歴史的な大規模減収という最悪のシナリオは避けることができた。

本法人の収益の柱であるコア事業収入は、平成30年度は17億8,700万円、令和元年度は19億4,400万円、令和2年度は24億5,800万円となり、法人の事業活動は今なお拡大傾向にある。

現状は、安定経営が維持されているが、将来展望としては、悲観的な見方も間違いではない状況にある。その大きな要因は、少子高齢化の伸展による社会保障費の膨張にあるが、3年おきに行われる支援費報酬が改定のたびごとにマイナス改定が示すところである。

(平成21年度報酬改定+5.1%、24年度+2.0%、27年度±0%、30年度+0.47%、令和3年度+0.56%の増額改定となっている。いずれも+改定となっているが、すべての報酬の平均であり、実質の報酬は大幅減収となっている。)

更なる経営の合理化が求められるが、その選択肢の一つに不採算事業の整理、法人合併や連携、近年厚労省が進める社会福祉連携推進法人への参画などが考えられる。

いずれにしても、利用者に経営合理化のしわ寄せが押し付けられることが無いように細心の配慮をもって臨むべきであり、それが創立から60年間守り通してきた当法人の理念であり目指すところである。

2. 会議等の開催

(1) 評議員会 年1回(決議省略)

評議員8人

(1) 定時評議員会：令和2年6月29日(月)

(決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日)

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：評議員8人中8人

〔協議〕

- 第1号議案 令和元年度事業報告の件
- 第2号議案 令和元年度収支決算及び監査報告の件
- 第3号議案 定款変更の件
- 第4号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程改正の件
- 第5号議案 第一野の花学園建替工事の件

(2) 理事会 年2回(うち、決議省略1回)

理事7人

監事2人

(1) 第1回理事会：令和2年6月12日(金)

(決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日)

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

〔協議〕

1. 令和元年度事業報告の件
2. 令和元年度収支決算及び監査報告の件
3. 評議員交代の件
4. 定款変更の件
5. 役員及び評議員の報酬等に関する規程改正の件
6. 諸規程改正の件
7. 第一野の花学園建替工事の件
8. 創立60周年記念行事の件
9. 令和2年度定時評議員会開催の件

(2) 第2回理事会：令和3年3月29日(月) 11:00

会 場：野の花学園法人本部会議室(We b会議)

出席者：理事7人中5人、監事2人中2人

〔協議〕

1. 令和2年度補正予算の件
2. 令和3年度事業計画の件
3. 令和3年度収支予算の件
4. 野の花富楽和の件(紙上)
5. キャリアサポート天神 就労継続支援B型事業開設の件(紙上協議)
6. 五灯館大学校の訪問型事業の件(紙上協議)
7. 放課後等デイサービス野芥(仮称)開設の件(紙上協議)
8. 経理規程第66条による随意契約の件(紙上協議)
9. 定款変更の件(紙上協議)
10. 給与規程改正の件(紙上協議)
11. 施設長人事の件(紙上協議)
12. 評議員会決議省略の件(紙上協議)

(3) 評議員選任・解任委員会 年1回

1) 令和2年6月15日(月)

(書面審議により承認があったものとみなされた日)

※新型コロナウイルス感染症対策のため

承認書提出者：委員 4 人

[協議]

1. 評議員の交代に伴う新評議員会の選任の件

(4) 会計監査・業務監査 (年 5 日)

令和 2 年 5 月 2 日 (土) ふよう学園、なのみ学園、五灯館大学校、
キャリサポ福岡・天神、就業 (野の花) 拠点

5 月 6 日 (日) 第二学園拠点

5 月 9 日 (土) 第一学園、志摩日々菜々、富楽和、

児童発達支援拠点 (1 日目)

5 月 13 日 (水) 第一学園、志摩日々菜々、富楽和、

児童発達支援拠点 (2 日目)

5 月 15 日 (金) 本部、第三、まどか、ちくぜん、就業 (ちくぜん) 拠点

3. 創立 60 周年記念事業

(1) 募金活動

平成 31 年 3 月 27 日の平成 30 年度第 4 回理事会で、創立 60 周年記念事業として野の花学園の施設整備と障がい福祉の啓蒙活動を目的に広く社会に対して募金の依頼を行うことを決定した。

野の花学園創立 60 周年記念事業募金協力のお願い

社会福祉法人野の花学園は、一九五九年の創立から本年を以って 60 周年を迎えることになりました。

現在は、多くの方のご支援に支えられて福岡県内二十一の施設で障がい児者の支援を行っております。

創立のきっかけは、障害の子供を持つ五人の母親が我が子のための施設を作ることであり、資金作りに靴下、石鹸、タオルをリヤカーに積み行商して回る血のにじむような活動に辿ります。

この活動が、NHKから「五つの灯」と題して全国放映されることになり、日本の福祉の実態が初めて世に知らされるとともに、国内外から多くの激励と寄付が寄せられました。

支援の輪は、どんどん広がりロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所、写真家秋山庄太郎、伴淳三郎、森繁久彌など書き尽くせない方々の支援をいただきました。


中でもノーベル賞作家パール・バックが野の花学園を訪れ、五人の母親を励ましたことは、社会の大きな関心と呼び学園創立に拍車がかかりました。

「ひとりでも多くの不幸な子どもを受け入れたい」という五人の母親の思いは、60 年たつて今なお引き継がれ、地域に根を張るよう今日まで多くの施設を設立してまいりました。

この度の 60 周年を契機に、これまで多くの方からいただいた善意を第一野の花学園の建て替えをはじめ施設の大規模整備を行うことにより障がい者の安全安心の向上に努めたいと計画いたしております。

つきましては、創立60周年記念事業として行う施設整備は膨大な予算を必要としますので、多くの皆様からのご支援を賜りたくここに寄付をお願い申し上げます。何卒趣旨にご賛同賜りご支援賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 野の花学園
理事長 福田 量



振込先
福 岡 銀 行 六本松支店 普通 口座番号 2363210
西日本シティ銀行 今宿支店 普通 口座番号 3067852

振込先口座名義
社会福祉法人野の花学園 創立60周年記念事業寄付金 理事長 福田 量

福岡銀行、又は西日本シティ銀行の本支店の窓口でお振込み(別添専用振込用紙)の場合に限り、振込手数料は免除されます。

追伸 尚、この寄付金は、当法人が行う社会福祉事業のための寄付金(所得税法第78条第2項第3号に規定する特定寄付金、法人税法第37条第4項に規定する特定公益増進法人に対する寄付金)に該当します。

(2) 施設整備

(1) 第一野の花学園施設入所支援棟建替工事

平成28年12月1日から大規模な移転改築工事に着手、令和2年5月14日に新施設入所支援棟の施主検査を行った。また、同年5月25日には指定確認検査機関(ビューローベリタスジャパン株式会社)から「仮使用認定通知」を受領し、同年6月1日から施設入所支援棟及び給食棟の使用を開始した。

同年8月26日には指定確認検査機関(ビューローベリタスジャパン株式会社)から「検査済証」を受領し、9月に外構工事を含むすべての工事及び検査を完了し、施工業者からの引渡しを受けた。

①設計監理

株式会社IWAKIRI.S.A.(那珂川市今光3-166)

②移転改築工事

a. 契約金額 654,480,000円

追加契約金額 263,520,000円

合 計 918,000,000円

b. 工期 平成28年12月1日～令和2年9月末日

c. 落札(施工)業者

株式会社東部産業(福岡市東区原田1丁目1番21号)

③入札参加状況

11社案内中、5社参加

商号又は名称	商号又は名称
○ 株式会社へいせい	○ 松井建設株式会社 九州支店
○ 株式会社東部産業	株式会社百田工務店
株式会社内藤工務店	株式会社谷川建設

	株式会社奥村組 九州支店	株式会社旭工務店
○	アスミオ株式会社	松尾建設株式会社 福岡支店
○	梅林建設株式会社 福岡支店	

※○印は参加業者

④遺跡調査について

第一野の花学園の建設予定地地下に弥生時代の遺跡が存在することが判明したことから次の通り発掘調査を実施することになった。

- a. 遺跡名 今津古墳群A群・今津A遺跡
- b. 調査対象面積 403㎡
- c. 調査期間 平成29年10月～11月
- d. 費用 1,865,770円

(2) 第一野の花学園施設入所支援棟代替移転改築工事（空調換気設備工事）

①設計監理

株式会社IWAKIRI.S.A.（那珂川市今光3-166）

②空調換気設備工事

- a. 契約金額（変更前）44,604,000円
（変更後）44,280,000円
- b. 工期（変更前）平成28年12月15日～平成30年2月28日
（変更後）令和元年6月1日～令和2年5月31日
- c. 契約（施工）業者
（変更前）東テック株式会社（福岡市博多区榎田2丁目1番18号）
（変更後）空輝工業株式会社（大野城市仲畑3丁目3番38号）

③契約の承継

（変更前）

東テック株式会社は、旧・株式会社ディー・エス・テックと合併のうえ事業承継をしたため、当該会社と契約を改めて締結した。

（変更後）

さらに、空輝工業株式会社（ダイキン工業株式会社推薦）が当初の見積指名業者であったものの施工管理体制に万全を期すため、ダイキン工業株式会社の提案により旧・株式会社ディー・エス・テック、後の東テック株式会社となった。

このような経緯があったものの、空輝工業株式会社において施工管理・品質管理ができるようになったことから、東テック株式会社から空輝工業株式会社に工事を承継のうえ、空輝工業株式会社に変更した。

(3) 記念行事

(1) 検討委員会

創立60周年記念イベントを開催するため検討委員会を設立し、令和元年度は9回を開催、次のイベント案を決定した。しかし、今後の感染リスクを考慮し、苦渋の中止を決定した。

創立60周年記念イベント（案）

テーマ：「野の花学園 共に生きる 60年の軌跡」

開催日：令和2年10月24日（土）
 会場：福岡市民会館（1770名収容）
 演目・演者：瑞宝太鼓（社会福祉法人 南高愛隣会）
 記念特別講演（金澤 泰子氏）
 記念演奏（精華女子高等学校吹奏楽部）
 後援：福岡市・福岡県・西日本新聞社

野の花学園 共に生きる 60年の軌跡

2020.10.24 [土] 13:00~17:00 (OPEN1230)

会場：福岡市民会館 福岡市中央区天神5丁目1-23 チケット：前売 1,000円 当日 1,300円
 【お問合せ】社会福祉法人 野の花学園 TEL 092-717-9987 FAX092-717-9988



南高愛隣会 瑞宝太鼓
この一打に込める、メンバーの想い

【主催】 社会福祉法人 野の花学園
 【後援】 福岡県・福岡市・西日本新聞社
 【協賛】

○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○
○○○○	○○○○



記念講演会
金澤 泰子氏
書家 金澤 翔子さんの母



精華女子高等学校吹奏楽部
明るく・楽しく・元気よく、
今できる最高の演奏、演技を！

＜チケットお申込み＞

FAX：092-717-9988 E-mail: 60th@nonohana.or.jp

チケットをお申込みの際は、FAXまたは、E-mailに下記の必要事項を記載の上お申し込み下さい。

団体名			
申込者名 (ご担当者)	[フリガナ]	購入枚数	
チケット送付先 ご住所	〒	連絡先	(Tel)
			(Fax)

配布チラシ（案）

（4） 創立60周年記念誌

（1） 編集委員会

創立60周年記念誌の編集を検討する委員会を設立し令和2年度は8回開催（令和元年度は5回開催）した。

(5) 特別表彰

(1) 受賞者

創立60周年を記念し次の特別表彰を決定した。

支援者 4名

評議員 8名

役員 9名

職員 16名

正規職員以外のうち10年以上勤続者

(6) 記念碑建立

創立60周年記念碑を設置した。



創立60周年記念碑

4. 実施事業等

(1) 第一種社会福祉事業

(1) 障害者支援施設 第一野の花学園

①日中活動支援：

生活介護（定員60名）、自立訓練（定員10名）、就労継続B型（定員24名）、就労移行（定員9名）※平成29年度から休止中

②生活支援：

施設入所支援（定員60名）、

③短期入所（定員6名）

(2) 障害者支援施設 第二野の花学園

①日中活動支援：

生活介護（定員65名）、就労継続B型（定員50名）

②生活支援：

施設入所支援（定員70名）

③短期入所（定員6名）

(3) 救護施設野の花 (定員50名)

(2) 第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

①共同生活援助事業

(第一野の花学園グループホーム14か所58名、第六野の花グループホーム1か所17名、グループホーム東3か所8名、フラワー3か所19名)

②居宅介護事業 (ヘルパーステーション野の花)

③キャリアサポート福岡・天神 (五灯館大学校専門課程本校を兼ねる)

(就労移行支援 福岡20名、天神10名、就労定着支援 利用者数20人以下)

④第三野の花学園 (就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、

就労定着支援 利用者数20人以下)

⑤障害福祉サービス事業所ちくぜん野の花

(就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、就労定着支援 利用者数20人以下)

⑥福岡市立ふよう学園

(就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名)

⑦福岡市立なのみ学園

(就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名)

⑧大野城市障がい者支援センターまどか・ゆいぱる

(就労継続B型 定員10名、生活介護 定員20名)

⑨五灯館大学校基礎課程本校 (自立訓練 定員20名)

⑩志摩日々菜々 (就労継続B型 定員20名)

⑪児童発達支援センター野の花 (定員30名)

⑫障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス野の花今津) 定員10名

⑬障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス野の花姪浜) 定員10名

⑭障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス野の花下大利) 定員10名

⑮障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス第六野の花) 定員10名

(2) 身体障がい者福祉センター事業

①身体障がい者福祉センターA型 (福岡市立障がい者スポーツセンター)

②身体障がい者福祉センターB型 (福岡市立早良障がい者フレンドホーム)

③身体障がい者福祉センターB型 (福岡市立西障がい者フレンドホーム)

(3) 相談支援事業

①指定相談支援事業 (福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター)

②指定相談支援事業 (障がい者ライフサポートセンター野の花東)

③指定特定相談支援事業 (大野城市障がい者支援センター)

④指定相談支援事業 (フラワー)

⑤指定特定相談支援事業 (障がい者ライフサポートセンター野の花西)

⑥障害者就業・生活支援センター事業

障害者就業・生活支援センター野の花
障害者就業・生活支援センターちくぜん
障害者就業・生活支援センターちくし

⑦生活困窮者に対する相談支援事業（救護施設野の花）

（４）地域生活支援事業

①移動支援事業（ヘルパーステーション野の花）

②日中一時支援事業

（第一野の花学園（定員 6 名）、第二野の花学園（定員 6 名））

③地域活動支援センター（筑紫地区地域活動支援センター）

（３）公益事業

（１）地域生活総合支援センター「支援センター今津」

（２）地域生活総合支援センター「支援センター夜須」

（３）障害者雇用納付金関係助成金要領における職場適応援助者支援事業（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構：ジョブコーチ）

（４）生の松原特別支援学校放課後等支援事業

（福岡市委託事業：児童発達支援地区）

（５）福岡市西区第 2 障がい者基幹相談支援センター

（４）その他の事業（委託・補助事業・単独事業等）

（１）障害支援区分認定調査事業

（２）福岡県障害児等療育支援事業（第二野の花学園）

５．会議

新型コロナウイルス感染症対策の一環でWeb会議を導入し、開催を行った。

（１）管理者会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月 1 回を定例とし、令和 2 年度は 1 2 回開催した。

（２）経営企画会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月 1 回を定例とし、令和 2 年度は 1 2 回開催した。

６．人材育成への取り組み

職員としての資質とサービスの質の向上を目的とした内部研修会等を自主企画・実施した。

（１）役職昇格者辞令交付式 令和 2 年 4 月 1 日（水） 16：30 於法人本部

（２）入職式 令和 2 年 4 月 6 日（月） 10：00

於福岡市立障がい者スポーツセンター

- (3) 新入職員入職時研修会 令和2年4月6日(月) 13:00
於福岡市立障がい者スポーツセンター
※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- (4) 職員研修会 毎月2~3回(全34回) 9:00~17:30
於本部 受講者10名程度
※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- (5) 野の花学園合同研修会 令和2年9月26(土)~9月27日(日)
於 夜須高原青少年自然の家
※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- (6) 永年勤続表彰
20年
10年

7. 野の花学園後援会との連携

長年にわたり当法人を側面から支援していただいている後援会との連携強化を図り、施設運営についての理解を深めてもらうことに努めた。

- (1) 後援会会員への情報提供
法人の広報紙「野の花だより」に後援会の記事欄を設け、行事案内等を行った。
- (2) 後援会が行う事業への支援
- (1) 春のつどい(4月18日(土) 於 第一野の花学園)
※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- (2) 第7回野の花学園チャリティーゴルフ大会
(11月11日(水) 8:00 於 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ)

8. 各種団体との連携と参画

法人及び施設の上部組織等を中心に、各種委員会、研修会、行事等へ参加することにより連携を図ることに努めた。

- (1) 日本知的障害者福祉協会
- (1) 九州地区知的障害者福祉協会
- (2) 福岡県知的障がい者福祉協会
- (2) 福岡県社会福祉法人経営者協議会
- (3) 福岡市民間障がい施設協議会
- (4) 全国地域生活支援ネットワーク

9. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う補助金等

- (1) 福岡県
- (1) 令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(障がい分)
- 合計 38,241,000円
- ア 障がい福祉慰労金事業 16,200,000円
(@50,000円、324人分)
- イ 感染対策徹底支援事業 11,941,000円
(多機能型簡易居室の設置に要する費用を除く)

- ウ 感染対策徹底支援事業 6,000,000円
(多機能型簡易居室の設置に要する費用に限る)
- エ 利用者への再開支援への助成金事業 300,000円
- オ 環境整備への助成事業 3,800,000円

(2) 福岡市

- (1) 福岡市高齢者・障がい者介護従事職員に対する特別給付金 3,450,000円
- (2) 障がい児福祉サービス事業所従事者に対する特別給付金 600,000円
- (3) 医療関係者に対する特別給付金 400,000円
- (4) 福岡市救護施設職員慰労金支給事業費補助金 950,000円
(@50,000円、19人分)
- (5) 令和2年度福岡市障がい福祉分野のICT導入モデル事業 4,656,267円
- (6) 福岡市障がい者総合支援事業費補助事業
(新型コロナウイルス感染症対策に係る特別事業分) 949,080円